

## 絵本のちから

今、赤ちゃんや幼いお子さんがいるご家庭では毎日が育児や家事に追われ、とてもにぎやかな日々をお過ごしのことと思います。そんな日常の中で、どんな時にどんなふうに絵本を取り入れて親子で楽しんでいきますか？

生後6ヶ月位から赤ちゃんは言葉に興味を持ち始めます。お世話をしあげながらの語りかけや触れ合いは、関わってくれる人との心の響き合いの始まりです。人として成長していく上で言葉は、考え、思い、学び、伝えるための手だてです。これほどにも大切な言葉の力は、乳幼児期の、親から子への語りかけや、絵本を読んであげるといふ、温かく、人間的なふれ合いを通して得られていきます。

### ～焦らないで、さりげなく～

絵本を開いても興味を示さずページをめくっているだけでもがっかりしないでください。その本が年齢にあったものなのかなど見直してみましょう。また、いつでも手に取れるようにさりげなく絵本を置いておきましょう。ふと、興味を示し始めたら、今読んでいるところの物、生き物、人などを指して、理解を助けながら読むのもよいことです。

### 幸せな時間

幼子に絵本を読んであげる時には、きっと膝の上に抱っこしたり身体を寄せていたり…その時間は心も身体もリラックスしてゆだねている幸せな時間でもあることでしょう。絵本を読んであげるのは母親と決めてかからず、父親、兄弟姉妹、祖父母等、それぞれの関わり方で心の響き合いを楽しんでください。

幼子と絵本のつながりは、そんな幸せな時間の積み重ねで広がり、深まっていくのだと思います。

参考までに、年齢層に合わせた絵本の紹介は下記の「絵本のある子育て」にも載っています。  
(※図書館、子ども家庭支援センターに置かれています。)

